

さきたま

第163号

平成28年1月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東
TEL 048-645-0416
HPアドレス <http://saitama.harikyuu.or.jp>
事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp
(広報委員長) 大谷尚子
(編集委員長) 阿部琴美

行事予定表

- 1月
17日(日) 第3回臨床研・鍼灸普及推進講座・
第2回療養費等適正運用研修会
24日(日) 療養費等適正運用個別指導会
- 2月
11日(木・祝) 女性委員会主催研修会
14日(日) 第4回学術講習会
21日(日) 療養費等適正運用個別指導会

平成27年度 第2回臨床研・第3回学術講習会報告

平成27年度第2回臨床研・第3回学術講習会が11月15日(日)にWith youさいたま視聴覚セミナー室にて行われました。

臨床研では熊谷地区の橋本成正先生が「スポーツ障害と鍼灸」の演題で実技を交えてご講演くださいました。

午後からの学術講習会では「東洋医学と食事療法」をテーマに石心会狭山病院 メンタルヘルス科副部長 竹野良平先生と千葉大学非常勤講師・和光治療院漢方薬局代表 平地治美先生にご講演いただきました。



橋本成正先生の実技



平地治美先生

浦和区健康祭りに参加して

埼玉県鍼灸師会育成学生 呉竹医療学園 3年 武藤 麻美

2015年11月1日に浦和PARCOで浦和区健康祭りが開催され、今年も埼玉県鍼灸師会の浦和地区が中心となり、鍼を体験していただく為のブースを出しました。

私は今年で3回目のお手伝いでしたが、体験しに来てくださる人数が年々増え、今年は小児鍼を含め510名となり、体験型のブースでは堂々の第1位となりました!!

中には毎年来てくださる方もいて、「鍼をさしてもらったあと楽しかったの!」と私に嬉しそうに話してくださいました。また、初めての方は「痛いかしら? ドキドキする」と言っていたのですが、終わったあとは「痛くなかったわ」と笑顔を見せてくれました。

『鍼は痛い』というイメージがまだまだあるので、こういう機会にぜひ体験していただき、鍼灸のことを、また小児鍼のことを一人でも多くの人に知ってもらえたらいいなと思いました。

学生の立場からもこのような機会はたくさんの先生方とお知り合いになれ、臨床現場のこともたくさん聞けたり、治療を見ることができたりする

いい機会なので、もっとたくさんの学生に参加してもらえたらいいなと思います。そして来年は目指せ600人です!!



第3回臨床研究会・鍼灸普及推進講座・ 療養費等適正運用研修会及び新年会のお知らせ

療養費等適正運用委員長 大畑 龍也
普及委員長 水川 泰臣
学術委員会 小俣 浩

平成27年度第3回臨床研究会・鍼灸普及推進講座・平成27年度第2回療養費等適正運用研修会を以下の予定で開催致します。

日にち:平成28年1月17日(日)
場 所:大宮ラフォーレ清水園
(さいたま市大宮区東町2丁目204 TEL048(643)1234)
参加費:埼鍼会会員・育成学生は無料

平成27年度 第3回臨床研究会 (会員・育成学生限定)
時 間:午前10時30分~12時(受付開始 午前10時)
会 場:2階 プッチーニ
内 容:沢田流開書 鍼灸真髓「膏肓の下の鍼-肩甲帯の可動性の改善の刺鍼(実技供覧)」
(公社)埼玉県鍼灸師会学術委員 高橋雅明先生

平成27年度 鍼灸普及推進講座・第2回療養費等適正運用研修会
鍼灸普及推進講座
時 間:午後2時~午後3時30分(受付開始 午後1時45分)
内 容:「地域包括活動に参加しての実際」浦和地区
今井幸司先生、村上悟先生
第2回 療養費等適正運用研修会
時 間:午後3時45分~午後5時15分
内 容:・保険者同行
・書類記入上の注意点
・DKシステムについて



セイリン工場見学会のご案内

女性委員長 清水 栄子

平成27年度の育成委員会・女性委員会主催研修会はセイリンの工場見学会を以下のように開催いたします。今回はバス移動になりますので、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

参加希望の方は埼玉県鍼灸師会事務所(TEL048-645-0416、E-mail saishinkai@gold.ocn.ne.jp)までご連絡ください。メールでご連絡の場合、件名に「女性委員会研修会参加」とし、本文に「所属地区名or育成学生or一般学生or一般」及び「氏名」を入力してください。

日 時:平成28年2月11日(木・祝)
午前8時 大宮出発予定
午後7時30分大宮着予定
集合場所:ソニックシティ前広場(鐘塚公園)
見学場所:セイリン工場(静岡県静岡市清水区)
定 員:40名
参加費:会員・育成学生 無料、
一般学生 500円、一般 1,000円

平成27年度第4回学術講習会 (埼玉鍼灸学会と共催)のお知らせ

学術委員長 小俣 浩

日 時:平成28年2月14日(日);午後1時~5時
会 場:さいたま共済会館 502号室
講 演:「糖尿病の診断と治療(仮)」
埼玉医科大学かわごえクリニック院長
片山茂裕先生(予定)
「総合診療診察方法の実際(仮)」
埼玉医科大学総合診療内科教授 中元秀友先生(予定)
「下部消化管の鍼灸治療(仮)」
帝京平成大学ヒューマンケア学部
鍼灸学科准教授 岩昌宏先生

※本講習会は(公財)東洋療法研修試験財団・生涯教育研修制度認定講習会です。

共 済:埼玉鍼灸学会(認定研修C講座)
参加費:会員 2,000円、育成学生 500円、一般 5,000円、
一般学生 1,000円、従業員 3,000円
(公社)全日本鍼灸学会員 3,000円

問い合わせ・連絡先:
(公社)埼玉県鍼灸師会 学術委員会 小俣 浩、菊池 友和、
津崎 正法
埼玉医科大学 東洋医学センター
TEL&FAX 049-276-2108、または049-276-2113
E-mail:homata@saitama-med.ac.jp



旬の食べ物を食べて元気になろう!

今回の食べ物は「春の七草」。春の七草は「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」で有名です。「春の…」というくらいですから、秋の七草もありますが、あまり知られていません。

春の七草が知られているのは、1月7日に七草粥を食べるとい風習があるからではないでしょうか。実はこの風習は「人日(じんじつ)の節句」といって、お雛様を飾る桃の節句などと同じ日本の五節句の内の一つなのです。今でも行っているこの習慣ですが、歴史は長く平安時代中期に始まったそうです。野菜があまり採れない冬の栄養不足を補うための先人の知恵ですね。

春の七草は早春の頃一番に芽吹くため、七草粥を食べることで邪気を払うとされていました。また、お正月のお祝いで沢山飲み食いして疲れた胃を労わるために食べるともいわれています。

今でも良く見れば路地や空き地に咲いている春の七草ですが(スズナ=カブ、スズシロ=大根は畑にありますね)、お正月の頃にスーパーで七草粥のセットとして売っていることが多いので、お手軽に食べることができると思います。平安時代から続く体に優しい七草粥、いつもは食べない方も今年は食べてみてはいかがでしょうか。



協賛各社
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療機器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・カナケン・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ